

令和3年7月21日 市長定例記者会見 会見録

◆司会

ただいまから市長定例記者会見を始めさせていただきます。市長、よろしくお願いいたします。

◆市長

よろしくお願いいたします。まず、今日は最初に、「静岡市はいいねえ。夏トクキャンペーン」という施策を用意させてもらったという情報提供をさせていただきます。

2つのLifeを守るというのが、静岡市のコロナ対策であります。もちろん命が一番大事でありますけれども、暮らしも守っていかなければいけません。

その中で、明日から小中学校は、夏休みに入ります。2年目のコロナ禍の夏ですが、その中でも思い出を子どもたちにつくってあげたいというご家庭はたくさんいらっしゃるかと思います。そういった方々に、感染対策には気を付けながら子どもたちを外に出してほしいと、そんな下支えをするキャンペーンであります。

かなりインセンティブが高い内容になっておりますので、ぜひ報道をお願いいたします。お手元にこのようなチラシが配布されていると思います。このキャンペーンは「泊まっておトク、遊んでおトク」というダブルの二本立てであります。

まず「泊まっておトク」は、市内の六つのエリアに分けて実施する宿泊型のスタンプラリーであります。二つのエリア以上に宿泊していただいた方には、漏れなく全員、裏をご覧になっていただくと、5,000円相当の静岡市の名産品の詰め合わせをプレゼントいたします。

もう一つ「遊んでおトク」の割引は、静岡市内で販売されている企画の乗車券とか、マリンスポーツ、陶芸などの体験プログラムを割引します。この春、運航開始した葵舟も乗船半額になります。そのようなさまざまな体験プログラムをキャンペーンとして用意し、静岡市の夏を楽しんでいただくという内容であります。

また、このキャンペーンは、県がやはり、この夏実施している「今こそ!しずおか!!元気旅!!!」のキャンペーン、これは最大5,000円の宿泊が割引になるというものが中心ですけれども、これと連携しておりますし、夏トクキャンペーンは9月末までの実施を予定しておりますので、多くの市民の皆さん、県民の皆さんにご利用いただければうれしいということをお願いしたいと思っております。

◆司会

本日の話題ですけれども、お配りした次第にもあるとおり、ワクチン接種に関するものです。事前に幹事社さんからもワクチン接種に関連した幹事社質問を頂いておりますので、先に幹事社質問を受けたうえで、市長から発表させていただきます。

幹事社さん、よろしくお願いいたします。

◆読売新聞

読売新聞です。よろしくお願いいたします。前回の記者会見で、64歳以下の新型コロナワクチンの接種について、国からのワクチン供給量によっては、予約開始とする接種スケジュールを変更せざるを得ないとお話しされていました。そのことについて、どうなったか教えていただけるでしょうか。

◆市長

ご質問、ありがとうございます。今、市政の一番の課題は、ワクチンの接種をいかにスムーズに進めていくかということであります。市民の皆さんもそこに最大の関心があるかと思えます。ですので、いろんな媒体を通じて私どもは、ワクチン接種について「静岡市の考え方はこうだ」と、「今こんな状況だ」ということをお伝えしているんです。ですので、市長の定例記者会見というのも、その有力な手段でありますので、このところ、ずっとワクチン接種事業についての一番新しい情報をお伝えしておりますので、質問にきちっと答えようと思っております。

記者の皆さんは、よくよくご承知のとおり、国が各自治体の希望した量のワクチンを供給されないかもしれないと、接種が予定どおりに進まないという状況、これは全国各自治体で起こっております。

本市についても、それに伴う対応が必要となってきておりますので、国の供給量によるわけですが、スケジュールの変更ということも想定してお伝えいたします。

スライドをご覧ください。まず現状認識でありますけれども、7月19日時点での静岡市ワクチン接種者の数と接種率について報告いたします。

65歳以上の1回目の接種率は73.68%、2回目の接種率は40.91%となりました。ですので、国が要請している7月末までに希望される65歳以上の市民の皆さんの接種を完了し、7月末で2回目の接種率は約70%弱となる見込みであります。

次のスライドをお願いします。それでは、これまでの国からの供給数と既に予約済みの皆さんの接種についてお伝えします。

静岡市の場合、ファイザー製のワクチンを使っております。1回目と2回目の接種の期間を3週間空けるというワクチンであります。1回目の接種を3週間行ったのち、同じ接種者を対象に2回目の接種を3週間かけて行うという形、これをクールと呼んでますが、合計6週間で1クールとして接種スケジュールを組み立てております。

これまで、5月24日から7月4日までの6週間で第1クール、7月5日から8月15日までの6週間で第2クールとしておりますので、現在は第2クールの途中に入っているということになります。この第2クールまでは、既に国からのワクチンの供給数が確定しており、この表にあるように、静岡市には、計498箱が入ってきております。これに

対し、市のこれまでの接種数と、第2クールが終わる8月15日までの予約数を足して、必要となるワクチンの量が458箱です。

したがって、第2クールまでは必要数以上のワクチンの供給が確定しています。既に予約済みの皆さんについては、問題なく接種を完了することができます。そして、第2クールまでの供給数から必要数を引いた残りが40箱となりますので、これは第3クールに繰越をするということになります。

次のスライドをお願いします。さて、問題は、この第3クール以降であります。この表をご覧ください。今後の見通しです。国は目下、要請するには、11月末までに市の人口の7割を超える、およそ49万人の2回の接種を終えることができるようにしてほしいということでもありますので、その要請に従いまして組み立てたのがこちらのスケジュールであります。これを組み立てるに当たりましては、静岡医師会、清水医師会はじめ、各方面から多大なるご協力、ご尽力をいただき、官民連携で場所の確保とか、打ち手をはじめとする人員の確保という準備を進めてまいり、体制を確立しました。

しかしながら、これは、この第3クール以降、国から2週間ごとに57箱、市のクールに換算すると1クールごとに171箱が供給されることが前提となった上でのスケジュールであります。

冒頭申し上げましたとおり、しかしながら、ここに来て、国からワクチンが希望どおりには供給できないという報道があり、次の第3クールについては、静岡市が求める171箱に対して117箱のワクチンしか供給されないだろうということが想定されています。そこで、次のスライド、この下のスライドですね、第3クール以降、同様な供給状況が続いた場合を想定したのが、こちらのシミュレーションであります。ワクチンの供給に合わせて、接種のペースを落としていかなければいけません。接種完了予定は第6クール、来年の1月30日まで延びてしまうということがあり得るということでもあります。もちろん、国からの供給量が今後回復していけば接種数を上げられるよう、体制、準備はしておりますので、ワクチン供給が間に合うということを大前提にして、私どもは引き続き11月末までの希望者全員の接種完了を目指してまいりたいと思っています。

次のスライドをお願いします。第3クールの予約枠についてであります。第3クールのワクチンの供給量は171箱から117箱に、これは、およそ3割減なんです。それが見込まれることですので、既に皆さんにお知らせした接種スケジュールを変更せざるを得ません。

まず、そのスケジュールですが、ワクチン供給量の減少に伴って予約枠を減らす作業が必要です。申し訳ありませんが、予約開始日をこれまでお知らせしていた8月2日から8月5日に、接種開始日を同じく8月12日から16日へと変更させていただきます。このクールの接種対象者ですが、第3クールでご用意ができる6万9,000人分の枠については今から申し上げる方を優先させていただきます。

まず、60歳以上でまだ接種していない方々、これがおおよそ3万4,000人いらっしゃい

ます。これまでと同様、コールセンターやウェブからご予約をいただくこととなりますが、第3クールから、これも使い勝手のいい新しいウェブ予約システムを導入いたしました。

これまで、なかなか予約ができない、使い勝手が悪い、さまざまなご意見、ご批判を頂きました。それを基に改善したシステムをこれから運用していきます。検索方法もとても簡単になっています。多くのアクセスが集中しても、システムダウンすることのない容量を備えております。ウェブ予約支援窓口の設置も予定しておりますので、ぜひウェブからの予約をお願いいたします。

次に、59歳以下の基礎疾患を有する方々、この方々はおよそ3万人いらっしゃいます。その予約につきましては、まず、かかりつけのお医者さんがいらっしゃる方は、かかりつけ医の先生にご相談いただき、その指示に従ってください。

そして、かかりつけ医のいらっしゃらない方は、事前に静岡市へ申請が必要となりますので、今月29日から市の公式ホームページで受け付けを開始いたします。

さらに、障がい者施設へ通っている方々や施設従事者の皆さんなど、およそ5,000人いらっしゃいますが、第3クールでの接種を予定しております。今、申しあげました方々で第3クールの枠は、ほぼ埋まる見込みとなっておりますが、予約状況によって可能であれば59歳以下の方々にもその対象を広げていきたいと思っております。そして、そのあと第4クール以降については、なるべく混乱を防ぐためワクチン供給のめどが立ってから供給量に応じて予約枠を確定し、予約の受け付けをスタートさせていただきます。

現時点で、基礎疾患を有する方を除く59歳以下の皆さんに具体的なスケジュールをお知らせすることは、そういう事情から今はできません。このことについては、既に接種券をお持ちの50歳から59歳の皆さんあてにはダイレクトメールで、改めて、はがきなどでもお知らせしていくつもりであります。

お待ちいただいている皆さんには申し訳ありませんけれども、59歳以下の皆さま、私も含まれますけれども、59歳以下の方々の予約や接種開始時期については、予約のウェブサイトや市のLINE公式アカウントなどでもお知らせいたします。ダイレクトメールも出します。なるべく情報の周知徹底をしたいと思っておりますけれども、報道機関の皆さんに、今日、申し上げたことを報道していただくというのは大変大きな手段となりますので、市民の皆さんへの周知について、重ねてご協力をお願いいたします。私の説明は以上です。

◆司会

それでは、ただ今の発表項目、ワクチン接種についてのご質問をお受けいたします。ご質問の際は社名とお名前をおっしゃってからお願いいたします。いかがでしょうか。静岡新聞さん、お願いいたします。

◆静岡新聞

静岡新聞です。まず、接種券の発送については、特に変更はせずに予定どおり送付するというのでいいのでしょうか。

◆市長

はい。今月中に全部。

◆静岡新聞

あと、現状のワクチン供給量だと、11月末までの接種完了は目指したいということでしたけれども、最長で1月末ぐらいになる恐れがあるということでもいいのでしょうか。

◆市長

おっしゃるとおりです。

◆静岡新聞

あと、かなり他の自治体さんもそうだと思うのですが、場所も確保して、打ち手も確保してということやってきた中で、国のほうで供給が減るということで、かなり国の方針によって結構右往左往していると思うのですが、国に対して何かおっしゃりたいことというのはありますでしょうか。

◆市長

全国市長会や政令指定都市の市長会を通じて、国には、自治体を優先してワクチンを回してほしいということでもあります。

東京の1,000人以上の社員を抱える企業の集団接種、職域接種も始まっていく、そういう要望も多いようですけども、私たち、社会的弱者も抱える自治体の接種対象者になるべく優先してワクチンを配付してほしいという要望を今、国にしているところであります。

◆司会

そのほか、ワクチン接種に関連した質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、それ以外のご質問をお受けしたいと思います。それ以外のご質問いかがでしょうか。第一テレビさん、お願いいたします。

◆静岡第一テレビ

静岡第一テレビです。お願いいたします。リニューアルされた、「まるちゃんの静岡音頭」についてお伺いしたいのですけれども、市民に親しまれている、「まるちゃんの静

岡音頭」ですが、編曲に小山田圭吾さんが加わっているということでした。今後、市としては、この音頭をどのようにPRとして扱われていくおつもりでしょうか。教えてください。

◆市長

せっかく、TARAKO さんに新しく、この静岡音頭を歌っていただいたにも関わらず、今回、小山田さんの件が出てきたというのは大変残念であります。

小山田さんも、さくらももこさんが声を掛けていただいて編曲に加わっていただいたといういきさつがあります。報道にあるような小山田さんの行動ということは、事実であれば非常に残念であります。

楽曲について、制作に至る経緯から、現時点ですぐに使用を中止するということは考えておりませんが、しかし、これから市民の皆さんのご意見も鑑みて、今後、必要であれば対応を検討しなければいけないというふうに思っています。

◆静岡第一テレビ

ありがとうございます。

◆司会

そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の定例記者会見を終了させていただきます。次回は、8月6日の午前11時からとなりますので、よろしくお願いいたします。